

宮城学院女子大学とのつながり ～「斎藤茂吉を辿る道」をきっかけに～

- 宮城学院女子大学アンケートを実施するきっかけとなったのは、「村山総合支庁が作成した‘茂吉マップ’を入手したい」という、平成18年5月、同大学日本文学科からの一本の電話でした。

茂吉マップ:「斎藤茂吉を辿る道ー山形原風景の旅ー」のタイトルで、茂吉ゆかりの場所や歌碑、茂吉を訪ねるモデルコースなどを紹介したマップです。山形県ホームページでもご覧いただけます。

[ホーム](#) » [地域情報](#) » [村山総合支庁](#) » [産業・しごと](#) » [商工・観光](#) » [斎藤茂吉を辿る道ー山形原風景の旅ー](#)

http://www.pref.yamagata.jp/regional/murayama_bo/bussiness/commerce/7301003mokichi.html

- 使いみちをお聞きしたところ、宮城学院女子大学日本文学科一年生の授業「日本文学基礎演習」として、山形への文学研修旅行を計画しているとのことでした。
- これは、村山総合支庁が取り組んでいる仙山交流・連携を促進するうえで、宮城県の若い方々の山形に対する認知度や印象などを知る好機と考え、協力をお願いしたところご快諾いただき、18年度に初めてアンケートを実施したものです。
- アンケートについての相談や結果報告のためのお話しをする中で、
 - ・ 浜田広介記念館～齋藤茂吉記念館～山寺立石寺・芭蕉記念館のコースであること
 - ・ 山形県村山地域は仙台から近いことから、ここ数年、同時期に、同様のコースで実施していること
 - ・ コースの中に‘おみやげ’を買う場所と時間を入れるよう、学生の方々からリクエストがあること（‘かわいい’おみやげが好みであること）などお聞きすることができました。
- 19年度は、ちょうど旅行に出かける時期に、全国的に‘はしか’が流行し、実施が危ぶまれる状況とのことでしたが、無事、山形にお出でいただき、引き続き、アンケートにご協力いただきました。
- 宮城学院女子大学日本文学科の皆様、ご協力ありがとうございます。